

他都市に学び、

札幌の魅力を高めるために

都市間交流を 進めています

札幌市は、他都市の優れた文化や魅力を学び、観光や経済の盛り上がりにつなげるため、日本各地の都市と交流しています。今回は、札幌市とつながりを深めている鹿児島市、松本市、浜松市の3都市の概要や、関わりのある取り組みを紹介します。

このページに関する問い合わせは、観光企画課 (211) 23376

平成25年11月
「観光・文化交流協定」締結

九州の南部にある人口約61万人の街です。市内にはおよそ270カ所の源泉があり、温泉施設が充実。明治維新の面影が色濃く残る史跡も数多くあります。黒豚やさつま揚げなどのグルメも豊富です。

鹿児島県 鹿児島市



↑市街地から4kmほどの距離にある活火山、桜島。現在も火山活動が続いているため、間近で噴火を見ることができます

札幌市との
つながり

歴史的な関わりが深く
経済を通じた交流が盛ん

札幌・北海道の発展に貢献



明治時代、薩摩藩出身の政治家黒田清隆は、積極的に外国人を招き入れ、札幌・北海道の発展に尽力しました。また、同じく薩摩藩出身で、開拓を指揮した村橋久成は、サッポロビールの起源である「開拓使麦酒醸造所」の創設に携わり、札幌にビール文化が根付くきっかけを作りました。



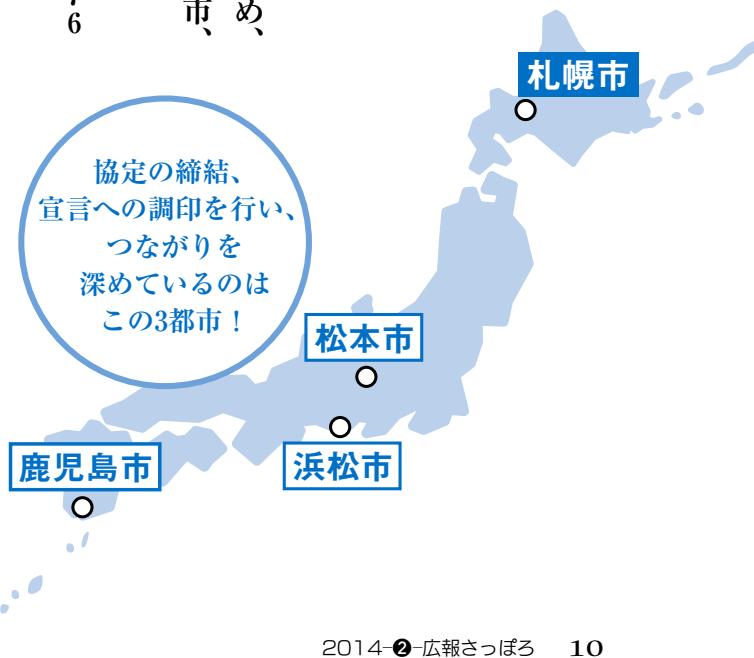
←「開拓使麦酒醸造所」は現在、ビール文化の歴史が分かる施設になっており、無料で見学できます(中央区北2条4丁目)

札幌の特産品などがそろう物産展が盛況

毎年両市の百貨店で、互いの地元産品などを集めた物産展を開催。鹿児島市内の百貨店「山形屋」で開催される北海道物産展の売り上げは、各都市で行っている北海道物産展の中で13年連続日本一を誇る盛況ぶりです。



協定の締結、
宣言への調印を行い、
つながりを
深めているのは
この3都市！



長野県 松本市

高い山々に囲まれ、学問や音楽が盛んなことから「三さんガク都（岳都、学都、楽都）」と呼ばれる、人口約24万人の街です。標高の高さなどの条件を生かして栽培する良質なソバが有名。長野市と並ぶ、県の中枢都市です。



↑街のシンボルである松本城。安土桃山時代に建てられた天守閣を持ち、国宝に指定されています

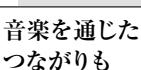


健康づくりの先進事例を学んでいます

一人でも多くの市民が、健康で自立した暮らしを続けることを目標にする松本市。地域ごとに配置される「健康づくり推進員」を中心に、市民が主体的に健康づくりを実践する文化が根付いています。札幌市はこうした取り組みを行う松本市に学び、市民自らが行う健康づくり活動への支援の充実策を考えていきます。



←昨年11月には、札幌市の職員が松本市を訪問。健康づくりをテーマにした市民交流の方法などについて意見を交換しました



昨年松本市で開催された音楽の祭典「サイトウ・キネン・フェスティバル松本」の様子は、札幌市内の大型ビジョンでも生中継されました。

3都市の情報を持つと知ろう！

3都市の見どころが分かる冊子を配布中

鹿児島市・松本市・浜松市

それぞれの都市で作成した
観光PR冊子です。

配布場所 市役所ロビー



街の魅力を紹介するパネル展を開催

鹿児島市

鹿児島市の見どころや、
食に関する情報を紹介します。

期間 2/3(月)～14(金) 会場 市役所ロビー

市は、まちの魅力を高めるために日本各地の都市と交流を続けていきます